

東京ケアリーダーズが行く！

うわさの
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。

今回は、高齢者福祉施設での日常のさまざまな場面にスポットライトを当てながら、介護の魅力を発信する「東京の介護ってすばらしいグランプリ（以下、東すば）2022」最優秀賞受賞施設と、日頃の介護現場での取り組みや実践、研究を学会形式で発表する「アクティブ福祉in東京'22」優秀賞受賞施設にお話を伺いました。

その16

2022年度開催「東京の介護ってすばらしいグランプリ2022」『写真部門』最優秀賞

社会福祉法人日本フレンズ奉仕団 特別養護老人ホーム フレンズホーム 山田 貴之さん

コロナ禍の敬老祝賀会

2022年の東すば写真部門では、メッセージカードを受け取ったご利用者のうれしそうな姿や動画を撮影する職員を写した構図などが評価された当作品が最優秀賞を受賞しました。受賞者の山田貴之さんにお話を伺いました。



最優秀賞受賞作品「コロナ禍の敬老祝賀会」

— 今回の写真はどのような場面でしたか

近年はコロナ禍により、例年実施している敬老祝賀会にはご家族が参加できない状況でした。新しい試みとして敬老祝賀会の様子の動画を撮影して送ることにしました。その様子を写真に収めた一枚です。

— 受賞作品ではどのような工夫をされましたか

動画撮影者を写真に収め、ご利用者の目線と笑顔がどこに向けられているかわかりやすいようにしました。構図がわかりやすくなり、動画を発信するという取り組みも見えやすくなったと思います。

— 撮影で意識していることはありますか

同僚と一緒に楽しめるイベントを演出し、自然な笑顔を引き出すことを意識しています。また、施設での生活を家族に伝えるため、場面がわかりやすい構図を心がけています。

— 施設での写真はどのように活用されていますか

施設で掲示したり、希望された家族へお送りしています。世間ではいまだ介護の仕事に対してネガティブなイメージがあると感じますので、写真を通じてそれを少しでも変えていければと思います。

— 受賞作品で撮影されている動画はどのように活用していきますか

まだ実現できていませんが、写真よりも臨場感ある動画をご家族に届けたいと思います。また、ホームページでご利用者の日常や行事の様子をアップロードしていきたいと思っています。

— 私自身も写真を撮影することが好きなのですが、受賞作品は本当にすばらしい写真だと思います。写真はその瞬間の様子を一目で伝えることができ、ご家族にとって良い思い出になると思います。本日はありがとうございました。



取材の様子
左：マザアス日野
井上 悠夏さん
(東京ケアリーダーズ)
右：フレンズホーム
山田 貴之さん

*「東京の介護ってすばらしいグランプリ2022」開催概要や受賞作品は特設サイトから <http://koureikyo.com/>



*この記事のより詳しい内容は高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>



社会福祉法人日本フレンズ奉仕団 特別養護老人ホーム フレンズホーム

所在地：〒154-0002 東京都世田谷区下馬2-21-11 Tel.03-3422-7211

■取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 井上 悠夏さん（マザアス日野）

■記録・編集：東京新聞 木下 聡文

フレンズホーム
ホームページ▶

